

アジアで がんを生き延びる

人類の進歩にとって
がんはどんな意味をもっているのか。

正解のない問いである

人類の難問としての

がんへの自らの問いを立てることは

混沌としたアジアの現実と向き合う

対話の回路をもつことである



- 4月17日 大学における知とはなにかという問いをもつということ
吉見俊哉 先生 [東京大学大学院情報学環教授]
- 5月 1日 イノベーションとアジアバロメーター
園田茂人 先生 [東京大学大学院情報学環教授]
- 5月15日 がん登録から見てくるアジア
田中英夫 先生 [地域がん登録全国協議会理事長]
- 5月22日 アジアにおける難問とは何か (大阪大学交流講義)
三宅 淳 先生 [大阪大学基礎工学研究科機能創成専攻教授]
- 5月29日 人類はやまいとどう向き合ってきたのか
波平恵美子 先生 [お茶ノ水女子大学名誉教授]
- 6月12日 がん研究とアジアの未来
野田哲生 先生 [日本癌学会理事長]
- 6月19日 討論「限りあるいのちと限りある医療資源にどう向き合えばいいのか」
モデレーター: 井上 肇 [厚生労働省大臣官房企画官]
- 6月26日 製薬企業は人類の進歩になにをもたらすのか
野木森雅郁 先生 [アステラス製薬(株)代表取締役会長]
- 7月 3日 エピゲノムから読み解く人類とがん
油谷浩幸 先生 [東京大学先端科学技術研究センター教授]
- 7月10日 医療経済評価はがん医療をどう変えるのか
福田 敬 先生 [国立保健医療科学院上席主任研究官]
- 7月17日 欧米からみたアジアのがん医療
バスカル・リゴディー 先生 [サノフィー・アベンティス(株)執行役員]
- 7月24日 討論「人類の進歩にとってがんはどんな意味を持つのか」



参考図書

アジアでがんを生き延びる
赤座 英之 / 河原ノリエ 編
東京大学出版会 2013年4月刊

アジアでがんを生き延びる ～地域文化研究特別講義Ⅱ～

Surviving Cancer in Asia

| | | | |
|----------------------------------|---|--|---|
| 科目番号 Course ID Number | 31M220-1324S、31M220-1324W (修士 master) 31D220-1324S、31D220-1324W (博士 doctor) | 使用言語 Language | 日本語 Japanese |
| 責任教員 Schools | 赤座英之(先端研) Hideyuki Akaza (RCAST) | 講師陣 Lecturers | 赤座英之、河原ノリエ、増井徹、井上肇、堀江重郎、 高橋悟(モデレーター) |
| 場 所 Venue | 医学部教育研究棟第1セミナー室(2階)、 1st Seminar Room, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg., Hongo Campus | キーワード Keywords | グローバルヘルスアジェンダ、国際共同治験、超高齢化社会、 歴史認識、癌研究国際戦略 Global health agenda, International clinical study, Super aged society, Understanding of history, Strategic investigation on comprehensive cancer network |
| 授業計画 Schedule | 様々な領域の第一人者である外部講師を招聘して、オムニバス方式で、がんを社会の中でどのようにとらえるかという思索を重ねる。高齢化社会、死生観の多様性、医療格差を乗り越える社会的正義など、社会構造の転換期にあるアジアが抱える様々な今日的な課題が、浮かびあがってくるような構成となっている。他大学との交流授業も予定している。 | | |
| 授業時間 Semester/Time | 通年、水曜日、6限(18:30-20:00) All year, Wednesday | 履修上の注意 Important points concerning enrollment | 成績は、レポート。 夏(2単位)・冬(2単位)、それぞれ単独で履修も可能。 大学院生以外の聴講も可能。(事前登録必要) |
| 授業内容 The contents of a lesson | 感染症から非感染症へ疾病構造が変容する中、アジアにおけるがんは急増している。がんという病には、遺伝的素因や生活習慣など、長い時間軸の中でのひとのくらしの営みや文化が色濃く影を落としている。これまでアジアは、医療水準、医療者、患者の価値観もまちまちで、データも単純比較できず、連携が難しい地域であった。経済成長著しい一方、未だにこの地域に横たわる、歴史的負債は大きく、グローバリズムとナショナリズムの「ねじれ」が先鋭に浮かび上がる地域である。アジアのがん医療における、新規薬剤開発や安全かつ有効な治療法の開発などを旨とする「総合癌研究国際戦略推進」寄附研究部門は、その活動の一つとしてがんという共有課題を乗り越えることで、この「ねじれ」を克服していくことを目指し、がんをグローバルヘルスアジェンダにするこ | | |

となどの政策提言活動を行ってきている。がんは政治、経済、文化など、様々な課題と密接にかかわっている病である。それぞれの領域の第一人者に、アジアのがんに纏わる問いを投げかけ、日本がアジアとどう向き合うべきなのか、対話の回路としての語りを重ねたいと考えている。

Against the backdrop of a global transformation in the structure and nature of disease, with focus shifting from infectious diseases to non-communicable diseases, cancer incidence in Asia is rapidly increasing. Cancer is a pernicious disease that develops over a long period of time, affected by genetic factors and lifestyle choices. It is a disease that casts a long, dark shadow over human culture and activities. To date in Asia there has been great divergence in medical standards, and also in the values of physicians and patients alike. What is more, data from Asian countries is not immediately comparable, making cross-border cooperation and information sharing difficult. While on the one hand Asia is experiencing astonishing economic growth, there are still historical legacies that pervade the region and a stark disjoint between globalism and nationalism can also be perceived. The Department of Strategic Investigation on Comprehensive Cancer Network aims to develop new drug therapies as well as safe and effective methods of treatment for cancer in Asia. The Asia Cancer Forum is based in this department and is engaged in efforts overcome the regional disjoint in Asia by promoting joint action on common issues. We are accordingly engaged in various policy proposal formulation activities, aimed at achieving the inclusion of cancer on the global health agenda. Cancer is a disease that is closely related to various challenges and issues, which are variously political, economic and cultural in nature. In this course we aim to direct questions relating to cancer in Asia to leading figures and create a forum for dialogue on how Japan should engage with Asia in fighting cancer.

講義は本郷キャンパス



東京大学先端科学技術研究センター

「総合癌研究国際戦略推進」寄附研究部門

赤座英之研究室

〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1

駒場リサーチキャンパス 先端研4号館 6F

講座・聴講などへのお問い合わせは、
担当 河原 までお願いします。

Tel: 03-5452-5314, Fax: 03-5452-5343

norie.kawahara@med.rcast.u-tokyo.ac.jp